



より良いトランスレーターになる方法

イラストレーター: Alex Mathers

レッスン前の準備

今回は、「より良い通訳者になる方法」について考えていきましょう。

あなたの考えにもっとも近いものはどれですか？

- プロの通訳者とは、翻訳の学位を持っている人である
- プロの通訳者とは、本職が通訳者の人である
- プロの通訳者とは、仕事として翻訳をする人である

通訳者にとってもっとも重要な資質とは？

- 高いレベルの翻訳スキル
- 学び続け、新しい状況に適応していく能力
- お客さまと良い仕事関係を築き、維持する能力

通訳者の協会に対するあなたの考え方にもっとも近いものはどれでしょうか？

- 自分には強力なクライアントベースがあるので、協会に参加する価値はないと思う
- サポートや情報が得られる貴重なリソースだと思う
- 通訳者の協会なんて存在するの？ 初耳です

つぎのレベルに進む用意はいいですか？

翻訳はクリエイティブな仕事ですから、才能が必要です。あなたは非常に高い外国語能力と母国語での文章力を備えていなければなりません。

けれども才能だけに頼ってはいられません。

「ロックスタートランスレーター」はたゆまなくスキルアップに励み、業界での人脈作りをし、高い評判を得るために懸命に働いています。このレッスンではこうした点を取り上げて、あなたがより良いトランスレーターになれるようにお手伝いしたいと思います。

「ロックスタートランスレーター」になるには



1. 技術を会得する



2. 業界での人脈作りをする



3. 名声を得る



1. 技術を会得する

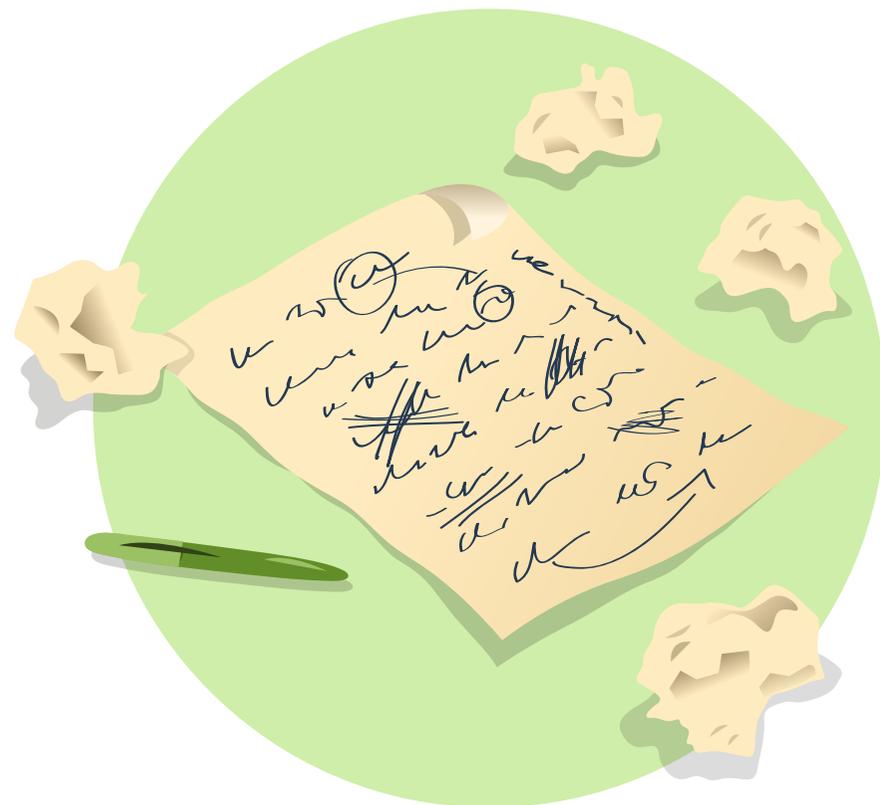
プロとしての継続的な能力アップがカギです。

技術を会得する

翻訳業界に参入するのは簡単ではありません。翻訳界のスターへの道の第一歩は各種スキルを高いレベルまで開発し、それらのスキルをさらに向上できるように努力し続けることです。

成功の秘訣:

- 練習しよう。『Becoming a Translator』でDouglas Robinsonが述べているように「単語やフレーズ、テキスト全文を多く翻訳すればするほど、優秀なトランスレーターになれる可能性は高まる (the more words, phrases, and whole texts a person has translated, the better a translator that person is likely to be)」のです。
- 生涯学習を心がけよう。継続学習のための講座やセミナーを受講して、トランスレーターとして常にベストであるように努めましょう。





自分を見失わないように

レッスン3では、「母国語の衰え」の問題を取り上げました。これは、外国語能力が発達しすぎたため、母国語のレベルが衰えたことを気づかない現象でした。

以下の方法を実践して、自分を見失わないように努めましょう：

- 両方の言語で、なるべく広い範囲の読書をする本、新聞、ブログ、雑誌、さらにはシリアルの箱の文章まで！
- 頻繁に映画やテレビを観たり、母国語でおしゃべりをしたりする。



2. 業界での人脈作りをする

業界の人脈を活用して成功しよう。

業界での人脈作りをする

「ロックスタートランスレーター」は業界での人脈ネットワークを築いて、自分たちの翻訳スキルをさらに価値あるものにします。こうしたつながりは、以下のものが期待できる貴重なリソースです。

- サポートや話し相手
- 援助やアドバイス
- 業界ニュースや動向
- 紹介: 対応できない案件に仲間を紹介でき、将来そうした仲間から仕事を紹介してもらえる。



1. 技術を会得する

2. 業界での人脈作りをする

3. 名声を得る



トランスレーターのためのSNS

人脈作りをしたいけどどこからはじめていいかわからない?
つぎに挙げるグループや協会を試してみてもは?:

- [Gengoのトランスレーターコミュニティ](#)
- [ProZ.com](#)
- [Translators - Interpreters Network](#)
- [American Translators Association](#)



3. 名声を得る

良い評判を得て、探さなくても仕事が舞い込むようにします。

名声を得る

優れたスキルと業界人脈を手にしたら「翻訳スター」への最終ステップは、良い評判を築くことです。

良い評判を築くためには、以下のことを実践しましょう:

- 締切には決して遅れない!
- 質問をする。ただし、質問は効率良く。
(いくつかまとめて聞く)
- 「ノー」を言うべきときを知る。量が多すぎたり、自分の専門外の案件であれば、正直に伝えましょう。
- 指示に従う。担当のプロジェクトマネージャーや顧客に余計な仕事をさせないようにしましょう。



